

2022 年 3 月 1 日

各地の兄弟姉妹へ

ジャパングospelワーク

ウクライナの情勢につきましてさまざまな情報がありますが、ジャパングospelワークがリビングストリームミニストリーの同労者である Bob Danker（ボブ・ダンカー）兄弟から正式に受け取った以下の三つのレターを、以下の通り兄弟姉妹にお伝えします。ぜひこのためにお祈りください。

①一つ目のレター：

愛する兄弟たちへ

ピーター・ウエルク兄弟からウクライナの状況に関して連絡が入りました。どうかこの事を諸召会と聖徒たちに伝えて祈ってください。同歌手が彼の主権ある御手と知恵を行使して、ウクライナにおける彼の証しを守り、建造してくださいますように。（2 月 25 日）

聖徒の多くは西に向かって逃げています。彼らは西に向かって運転していたとき、ベラルーシから下ってきたロシア軍と接触しました。また、多くのウクライナの戦車がキエフに向かう東西高速道路上に配置されており、そこでは確かに激しい戦闘が行なわれることとなるでしょう。西ウクライナの小さな村に大きな集会所があり、500 人の聖徒を受け入れることができます。わたしたちはウクライナの危険な状況にいるすべての聖徒を招待しています。彼らはこの村に来れば、顧みられ、毎日共に集まって祈ることができます。だれもまだ傷を負ったりはしてはいませんが、聖徒たちのいるいくつかの都市はすでに完全に制圧されています。例えば、メリトポリやマリウポリなどです。他に戦いが起こっていて召会のある都市をいくつかを挙げるなら、オデッサ、イスマエル、スミ、ハリコフなどです。

②二つ目のレター：

モスクワの兄弟たちは、以下の手紙をロシア語圏のすべての聖徒たちに作成しました。それは直ちにウクライナのすべての聖徒たちに送られました。(2月25日)

モスクワの同労者の兄弟から聖徒たちへ：

親愛なる兄弟姉妹！ 現在の政治情勢のために、わたしたちはすべての聖徒と召会に、特に今回は、何よりもまず願いをささげ（I テモテ 2:1-4）、彼の権益のための祈りの中でとりなすキリストと一になって、諸召会のため、最初に軍事紛争の対象となった地域の聖徒たちの生活と健康のために祈るように勧めます。

特にこのような時、わたしたちにとって重要なのは、外側の環境がどうであれ、天が支配することを覚えておくことです（ダニエル 4:26）。主は御座におられ、彼は神の定めを成就するために召会に与えられた万物のかしらです。

第4章26節でダニエルはネブカデネザルに言いました、「天が支配するのをあなたが知るようになれば、あなたの王国はあなたに確保されるでしょう」。支配するのは天であって、ネブカデネザルやクロスやアレキサンダー大王や病いや騒動や反逆ではありません。地は天の行政の支配の下にあります。天はわたしたちのために支配し、キリストはわたしたちのためです。

さらに、わたしたちはキリストのために神の天的な支配の下にあります。天的な支配の目的は、神の選民を成就して、キリストが首位となり、彼が第一（中心性）とすべて（普遍性）となることです。天が支配するので、キリストはわたしたちのすべての状況の中でわたしたちと共におられます。わたしたちが病んでいるとき、彼はわたしたちと共におられます。わたしたちが騒動の中にあるとき、彼はわたしたちと共におられます。わたしたちは騒動と反逆のただ中で彼の臨在を享受することができると、わたしは証しすることができます」（ダニエル書ライフスタディ、第12編）。

親愛なる聖徒たち、宇宙は神の統治の下にあり、神はその統治の中でキリストを首位とすることを意図しており、神の意図を達成するために、わたしたち神の民は、何よりもまず、わたしたちの祈りの中で神に完全な組み合わせと協力を与えなければなりません。

今まで以上に、わたしたちが「聖徒たちと同じ国籍の者、神の家族」であることを認識することが重要です（エペソ 2:19）。すなわち、わたしたちは、場所や居住地に関係なく、すべて神の王国の市民です。そして、この観点から、政治的動機による議論を避け、さらには論争を避けることが極めて重要です。代わりに、御座におられるわたしたちの王の王に目を向けて、この状況で彼と組み合わせられ、協力するために、個人的にも団体的にも祈りの中で彼と協力し、天的地位を取ることが極めて重要です。

祈りにおける天的地位の重要性について語った時、リー兄弟は次のような証しを与えました、

「わたしは少年のころ、キリスト教の学校で学びました。それは第一次大戦中でした。わたしは何人かの頭のよい人たちが牧師に問うているのを聞きました、「ドイツでクリスマスがあります、英国でもクリスマスがあります。でも両国は容赦のない敵対関係です。ドイツのクリスチャンたちはドイツの戦勝を祈っているし、また英国のクリスチャンは英国の勝利のために祈っていると聞いています。どちら側の祈りが神によって聞き届けられるかどうか教えてください」。今日、兄弟姉妹、わたしは同じ質問をあなたがたにしたいと思います。何と答えるでしょうか？……その後、わたしが救われた後、この質問はしばしばわたしに戻ってきました。次第にわたしはそれについてはっきりしてきました。ドイツのクリスチャンも、英国のクリスチャンもそれぞれの地位に立っていたので、神はいずれの祈りにも耳を傾けようとはされませんでした。英国もドイツも祈りの地位ではありません。英国かドイツかの地位に立って祈る者はだれもその祈りを神によって聞かれはしないでしょう。祈りにはただ一つの地位しかありません——それは天的地位です。あなたは天的領域の中で祈らなければなりません」（祈りの学課、第 17 章）。

今日、主はからだの祈りが、天の領域で、昇天の地位で発せられるのを真に必要としています。それは破壊的なサタンの混乱を征服し、建設的な神のエコノミーを実行することができます。それは、この時代を終わらせ、主の再臨をもたらし、神の王国を地にもたらすためです。

恵みがあなたがたにありますように。

③三つ目のレター：

ウクライナの奉仕者たちからの以下の報告を見てください。この報告を諸召会とたちと立ちに共有してください。(2月27日)

愛する兄弟姉妹

わたしたちは最近の人類歴史の中で最も歴史的な出来事の一つに直面しているので、まずエペソ人への手紙第1章におけるわたしたちのための使徒パウロの祈りを、聖徒たちに思い起こさせたいと思います。主が知恵と啓示の霊をわたしたちに与えてくださり、わたしたちの心の目が照らされて、わたしたちの召しの望みと、信じるわたしたちに働く彼の力の超越した偉大さを知らせてくださいますように(17-21節)。わたしたちはこの希望とこの力が別の領域に、神聖で奥義的な領域に、霊なるキリストと究極的に完成された霊の中にあることを思い起こさせられます。確かにこの何日か、わたしたちは主に、人の不安、意見、思想に満ちた物質の、天然の領域からわたしたちを移し、わたしたちの思いを開いて、目に見えない領域で起こっている現実を見せてくださるように求める必要があります。わたしたちが主の来臨の時に近づいているので、主がどなたであるのか、どこにおられるのか、そしてミングリングされた霊における主との結合の結果として、わたしたちが何であるのかを、聖徒たちが認識することは極めて重要です。多くの聖徒たちが天然の領域を超越し、主と、彼の感覚、彼の思想、彼の洞察力と完全に結合して、「祈りの中で祈り」(ヤコブ 5:17 とフットノート)、御座の権威が現在の戦闘の中で行使されるという緊急の必要があります。

ウクライナの聖徒たちと召会に関するわたしたちの統計は、パンデミックの前に約五十の召会と千五百人の聖徒がいたを示しています。最近の報告によれば、ウクライナ全土で聖徒たちは、現在の戦闘で大いに苦しんでいます。約二百人の聖徒たちの最大の召会があるキエフ周辺の地域では、何人かの聖徒が家に残っており、約四十人の聖徒たちが集会所にあり、さらに四十人の聖徒たちがキエフから離れた村にいます。昨日かなりの数の聖徒たちが、ウクライナ西部の都市に旅することができました。その多くは現在、戦争の危機に瀕しています。かなりの数の聖徒たちがウクライナ西部のわたしたちの会議場に集まりました。わたしたちが戦うことから免れると思った小さな村にありますが、この地域も脅威にさらされていることがわかりました。

ウクライナの大統領は、「一般動員」を宣言しました。これは、十八歳から六十歳までのすべての男子が、いつでも徴兵される可能性があることを意味します。現在、若い兄弟たちのだれもが逃れることは困難です。男子は出国を許可されていません。ポーランドとの国境線は何キロにもわたって伸びています。逃れている聖徒たちの保護と彼らの旅のために、わたしたちが必要とする祈りを、主がわ

たしたちに与えてくださいますように。

聖徒たちがいる多くのウクライナの都市は、攻撃の下にあります。着実な砲撃の下で、多くの聖徒たちは肉体的にも精神的にも苦しんでいます。主が彼の保護をもって聖徒たちを囲ってくださり、聖徒たちの魂と思いが、邪悪な者の脅威から覆われ保護されるように、主が彼らの日常必需品を彼らに備えてくださり、彼らが彼らの魂の牧者また監督者としてのキリストを認識し、直接、経験するように祈ってください。

ウクライナの聖徒たちの必要のためにささげたい人たちは、ヨーロッパへの主の動き（LME）を通してささげることができます。小切手を郵送するための、また電信送金するための指示は、lordsmove.org/offerings.html で見いだすことができます。ACH 送信を通して、あるいは PayPal Giving Fund を通してささげたい人のための指示は、www.lordsmove.org/e-offerings.html で見いだすことができます。（特に PayPal Giving Fund を通してささげるなら、あなたの献金を指定する方法について、そこの指示にしたがってください）。デビットカードやクレジットカードで献金したい人は、www.lordsmove.org/e-offerings.html で指示を見いだすことができます。あなたがどのようにささげても、あなたの献金に「ウクライナ」と指定してください。

ウクライナの奉仕者たち

以下はジャパングospelワークからのお知らせです。

ウクライナのために献金する負担がある方は、個人でも召会名義でも、以下のジャパングospelワークの口座に送金していただければ、責任をもってジャパングospelワークからウクライナへ送金するようにいたしますので、必要がある方はご利用下さい。その際、必ず、「ウクライナのため」と明示してください。

銀行名： 三菱 UFJ 銀行
支店名： 西新宿支店（支店番号 6 4 6）
口座番号： 普通 1 1 1 7 4 8 0
口座名義： ジャパングospelワーク

参考：台湾の諸召会は以下のウオッチマン・ニー全集を読んで祈っています。

2022 年 3 月 1 日、世界情勢の激動に関して、台湾の同労者たちの交わり

兄弟・姉妹へ

最近の世界情勢の激動に鑑み、台湾の同労者たちは、聖徒たちが霊的な目で世界情勢を見ることを学ぶ必要があると深く感じています。わたしたちは、諸召会に対して、祈りの集会で聖徒たちを導き、以下の書物を詳細に読み、以下の列記した負担のために祈ることを提案します。その書物は、1940 年（第二次世界大戦勃発後）に上海でニー兄弟が語ったメッセージです。

- 1.主が、関係している国家の聖徒たちと諸召会を守ってくださり、主にあって堅く立つことができるように祈り求めましょう。
- 2.主が、わたしたちの目を覚まし、祈りに専念させ、享楽から離れさせ、福音を宣べ伝えてくださるよう祈り求めましょう。

ウオッチマン・ニー全集 第二期 中期の著作（一九三四年から一九四二年まで）

第四五巻 特別集会、メッセージ、談話の記録（五） 第 139 編 「世界大戦と教会」

聖書

マタイ 24:4-14

イエスは彼らに答えて言われた、「だれにも惑わされないように用心しなさい。5 多くの者がわたしの名を名乗って来て、『わたしがキリストだ』と言い、そして多くの人を惑わす。6 またあなたがたは、戦争と戦争のうわさを聞く。あわてないように用心しなさい。それは起こらなければならないが、まだ終わりではないからである。7 民は民に、国は国に逆らって立つ。また至る所で飢きんや地震がある。8 これらすべての事柄は、陣痛の始まりである。9 その時、彼らはあなたがたを患難に引き渡し、またあなたがたを殺す。そしてあなたがたは、わたしの名のゆえに、すべての諸国民に憎まれる。10 またその時、多くの人がつまずき、互いに引き渡し、互いに憎み合う。11 そして多くの偽預言者が現れて、多くの人を惑わす。12 また不法がはびこるので、多くの人々の愛が徐々に冷えてくる。13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。」

使徒 4：25

あなたは聖霊によって、あなたのしもべである、わたしたちの父祖ダビデの口を通して言われました、『なぜ異邦人はいきり立ち、民はむなしい事を計るのか？』

ヘブル 11:5-6

「信仰によって、エノクは死を見ないように移されました。神が彼を移してしまわれたので、彼は見えなくなりました。なぜなら、彼が移される前に、彼は神に喜ばれていたという証しを得たからです。信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。というのは、神に進み出る者は、「神はある」ことを信じ、彼を熱心に尋ね求める者たちに報いてくださる方であることを、信じるはずだからです。」

世界大戦と教会

日時：一九四〇年十一月九日、 場所：上海

多くの人々は、終わりの時代のしるしに注意を払います。ある人は、答えはマタイによる福音書第二十四章四節から十四節にあると言います。確かに、主は御言葉のこの部分でこの時代の終わりについて語られました。その結果、多くの人の注意は、民が民に、国が国に逆らって立つことに向けられます。しかし、わたしたちは見なければなりません、これらの戦争の結果がどうであろうと、またどれほど民が民に、どれほど国が国に逆らって立とうとも、そこには一つの結果しかありません。すなわち、神の子らの苦難と損失です。どのような戦争にも二つの面があります。霊的に言っても二つの面があります。一方において、クリスチャン、すなわち教会があります。もう一方において、反対する国々があります。それらは連合して、神の教会に困難を与えます。問題は、どの国が勝つかではありません。焦点は神の民です。日本と中国の戦争では、困難を被ったのは中国でも日本でもなく、神の民です。ドイツと英国の戦争では、困難を被ったのはドイツでも英国でもなく、神の民です。こういうわけで、主はマタイによる福音書第二十四章九節で言われました、「その時、彼らはあなたがたを患難に引き渡し、またあなたがたを殺す。そしてあなたがたは、わたしの名のゆえに、すべての国民に憎まれる」。人が見るのは、どの国が勝ち、どの国が負けるかです。しかし、神の目には、どの国が勝ち、どの国が負けようとも、苦難を被るのは神の民なのです。

世界大戦の霊的意義

今日の世界は混乱しています。民は民に、国は国に逆らっています。わたしたちは至る所に戦争と飢きんを見ることができます。これらはサタンの働きです。世人の目には、国が互いに逆らって立っているのは、敵意のゆえです。しかし、神の目には、それらはみな連合しています。ヨーロッパ大戦（第一次世界大戦）の前に、ある英国人の兄弟が次のように手紙を書いてきました、「いったん戦争が始まったなら、どれだけ多くのクリスチャンが後に残されるか、わたしにはわかりません」。クリスチャンは戦争の時には、他の人と同じ見方をすることはできません。

すべての戦争の背後でサタンが管理していることを、わたしたちは見なければなりません。厳密に言って、一つの国が別の国と戦う時、それは二つの国が互いに戦い合っているではありません。それは、反対する二つの国が立ち上がって、クリスチャンをつまずかせているのです。戦争の結末は、ドイツや英国や中国や日本が倒れることではなく、クリスチャンが倒れることです。サタンの目的は、クリスチャンをつまずかせることです。クリスチャンは、戦争が勃発する時、これらすべての事柄の霊的意義を認識する必要があります。

主はマタイによる福音書第二十三章十三節で続けて言っていますが、クリスチャンは戦争や患難の中で憎まれる時、最後まで耐え忍ぶべきです。これは彼らを救いへと導きます。主は言われました、「そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る」（十四章）。戦争の間、神の子らは迫害されるでしょう。こういうわけで、耐え忍ぶ必要があるのです。しかし、それと同時に、わ

わたしたちは福音を宣べ伝えなければなりません。わたしたちはまた異邦人の間で証しとならなければなりません。わたしたちの証しは、他の国や地域に広まることはできないとしても、少なくともわたしたちの町には広まることができます。王国の福音は、人の住む全地で絶えず宣べ伝えられなければなりません。それから終わりが来るでしょう。

この世はキリストとクリスチャンに敵対する

使徒行伝第四章二五節の言葉は、詩篇第二篇一節から二節の引用です。それは次のように述べています、「なぜ国々は騒ぎ立ち、国民はむなしくつぶやくのか。地の王たちは立ち構え、治める者たちは相ともに集まり、主と、主に油をそそがれた者にとに逆らう」。なぜ国々は騒ぎ立つのでしょうか？ なぜ彼らはつぶやくのでしょうか？ 彼らが騒ぎ立ち、つぶやく目的は、キリストを除き去るためです。主が地上におられた時、ヘロデとポンテオ・ピラトは主を、すなわち神が油注がれたキリストを攻撃しました。今日、肉体にあるキリストはもはや地上におられません、彼はすべてのクリスチャンの中におられます。こういうわけで、今日、国々が騒ぎ立ち、つぶやくのは、クリスチャンに対してです。

表面上は、この世は多くの同盟や国家に分けられます。しかし、今晚わたしは、あなたがたがドイツや日本や英国や中国を見ないことを望みます。あなたがたは、自分がクリスチャンであることを見なければなりません。神の目には、国々は騒ぎ立ち、国民はむなしきことをつぶやき、キリストと神の民を攻撃しています。ヘロデとピラトは互いに敵同士でしたが、キリストを十字架につけることでは一つでした。ユダヤ人と異邦人は、自分たちはペンテコステにおいて一つになったと思いました。しかし、神が言われるには、キリストが十字架につけられた時、異邦人とイスラエル人は共に集まって、キリストに逆らって立ち、神の御子を攻撃したのです。

教会の祈りの必要性

わたしはこの事をどのように述べたらよいかわかりません。それは容易に語ることできるものではありません。わたしに言えることはただ、この世で起こっている事柄とこれから起こるであろう事柄すべてを主が管理してくださるようにと、上海に在る教会が絶えず祈らなければならないということだけです。いったん戦争が始まれば、多くの人は仕事を失い、地価は下がり、金の需要が高まり、銀行は閉鎖します。人々は自分のお金を物と交換しようとして、それらに群がります。いったん戦争が勃発すると、損失を被るのは教会です。クリスチャンは、損失を被るか、つまづくかのどちらかです。彼らは、物質的に損失を被るか、あるいは霊的に損失を被るかのどちらかです。ある方面において必ず苦難と損失を受けます。最近、わたしたちには娯楽を楽しむ時間はありません。わたしたちは特別な方法で祈らなければなりません。ハデスはただ一つの目的を持っています。それはクリスチャンを苦しめることです。一九四〇年の前途は暗いものです。クリスチャンは拡大された展望を持って、この世界大戦の目的と結果は何であるのかを見なければなりません。今晚から来年の春にかけて、大きな変化があるかもしれません。もしわたしたちに少しでも力があるなら、わたしたちはそれを祈りに向けるべきです。わたしたちは、主が事態を管理してくださるよう求めなければなりません。それは神の子供たちがつまずかず、福音が続けて広まるためです。